

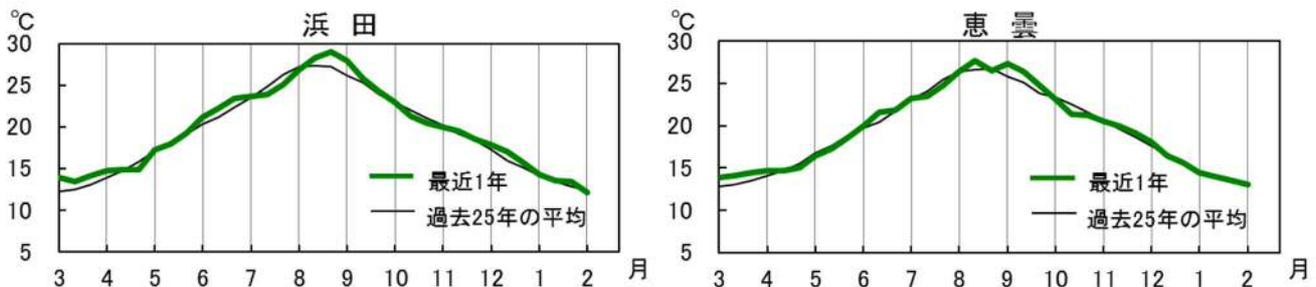


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《1月の海況》



1月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	13.7°C	+0.3°C	平年並み	14.0°C	+0.1°C
中旬	平年並み			平年並み		
下旬	やや高め			平年並み		


 《1月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、カタクチイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は14.2トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は40.7トンで平年の2割、カタクチイワシは27.7トン（過去5年間0トン）でした。隠岐地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は34.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は1,254トンで平年の5割、マアジは744トンで平年の1.2倍でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではヤリイカ（全体の62%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は129.4kgで平年並みでした。西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体の99%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は179.9kgで平年を上回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、ソウハチ、ケンサキイカ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は9.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、キダイは平年の1.3倍、ソウハチは平年の1.0倍、ケンサキイカは平年の2.9倍でした。その他、マアジは平年の1.8倍、マトウダイは平年の1.2倍と好調でしたが、アナゴ・ハモ類は平年の8割、アンコウ類は平年の4割、ヤリイカは平年の6割、ムシガレイは平年の4割の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではアカガレイ、ソウハチ、アンコウ類主体の漁況で、総漁獲量は187トンでした。1統1航海当りの漁獲量は787kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アカガレイは平年の1.2倍と好調でしたが、ソウハチは平年の5割、アンコウ類は平年の9割でした。その他、アナゴ・ハモ類は平年の2.3倍、マダイは平年の1.6倍、マトウダイおよびキダイは平年の1.4倍、ニギスは平年の1.1倍、アカムツは平年の8割、ヒレグロは平年の2割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、マアジ、スズキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は8.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の5割、マアジが9割、スズキが7割でした。石見地区ではヤリイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は3.7トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ヤリイカは平年の1.6倍でした。隠岐地区ではスルメイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は5.4トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、スルメイカは平年の4割でした。

【釣・縄】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は52.3kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の9割でした。石見地区ではヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は30.0kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ヒラマサは平年の3.5倍でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は31.3kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリが平年の1.6倍でした。

【令和3年1月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、カタクチイワシ	86トン	39%	23%	14.2トン	65%	35%	▲
	隠岐	サバ類、マアジ	2,284トン	167%	51%	34.1トン	152%	55%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ヤリイカ	2.1トン	1568%	10%	129.4kg	392%	37%	○
	西郷	スルメイカ	7.0トン	165%	190%	179.9kg	139%	171%	◎
沖合 底びき網	浜田	キダイ、ソウハチ、ケンサキイカ	180トン	73%	75%	9.5トン	69%	66%	▲
小型 底びき網	大田	アカガレイ、ソウハチ、アンコウ類	187トン	76%	82%	787kg	91%	93%	▲
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、マアジ、スズキ	77トン	69%	60%	8.5トン	61%	54%	▲
	石見	ヤリイカ	11トン	130%	43%	3.7トン	87%	41%	▲
	隠岐	スルメイカ	11トン	68%	47%	5.4トン	68%	50%	▲
釣り・縄	出雲	ブリ	26.6トン	78%	66%	52.3kg	134%	106%	○
	石見	ヒラマサ	13.9トン	56%	69%	30.0kg	111%	101%	○
	隠岐	ブリ	9.3トン	63%	80%	31.3kg	107%	109%	◎

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
 「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
 「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
 「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ